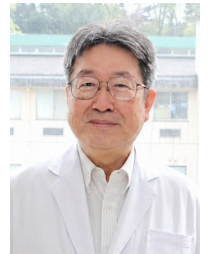


センターニュースをお読みの皆様へ

4月1日から赴任し、すでに多職種の皆様にお世話になっている関です。私は3月までは国立成育医療研究センターで小児外科系専門診療部（いわゆる外科系診療科各科）のまとめ役をしておりました。専門は整形外科で、その中でも手肘の先天異常に対する機能と外観の向上を目指して手術を中心に活動してきました。その当時から前任の高山真一郎先生の後を追って整形外科に取り組んできたことになり、成育まで遠方からいらっしゃる方もおり、比較的多くの疾患に出会ってきました。ですが逆に言えば、島田療育センターでお目にかかる重症心身障害児

(者) については向き合う機会があまりありませんでした。当センターではまず障害児(者)にしっかりと向き合い、ケアとサポートについて多職種の皆様と連携・協力して取り組んでまいります。また、担当する委員会では当センターの特性を十分に理解して、自分にどのような工夫ができるのかをいつも考えながら当センターの発展に努めようと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

副院長
関 敦仁

第65回

創立記念式典を実施しました

5月1日(金)、厚生棟研修室にて第65回創立記念式典が行われました。前日の豪雨で地面は濡れ肌寒い朝でしたが、式典の11時頃には日差しも見え始めました。

昨年度は7名の利用者様が亡くなられ、そのうち4名のご家族と、家族会の会長・副会長が参加されました。藤井理事長・木実谷名誉院長のご挨拶のあと、外部からの列席者と病棟利用者様で、追悼の白い花が捧げ

られました。

その後永年勤続者が表彰されました。今年は、30年表彰1名、20年表彰12名、10年表彰10名で、式典の様子は病棟ヘライブ配信されました。

(事務部 田中 和恵)



会場の様子



永年勤続表彰の様子

第65回

創立記念コンサートを実施しました

5月1日(金)、島田療育センター創立記念コンサートが開催され、生きることの感動と喜びの歌声に包まれました。今年は、ソプラノ歌手の坂井田真実子様、ピアニストの石井里乃様、そして大林瑠里様をゲストにお招きし、心温まる音楽を皆様にお届けしました。

コンサートでは、「楽しい歌」で会場に笑顔が広がり、「清らかな曲」が日頃の疲れを癒し、「いのちの大切さを振り返る曲」が深い感動を呼びました。坂井田様の魂のこもった迫力あるソプラノは、歌詞の一つ一つを鮮やかに表現し、聴く人々の心深くに響き渡りました。石井様の繊細かつ的確なピアノ伴奏がソプラノの魅力を一層引き立て、聴衆を魅了する素晴らしいものでした。

創立記念にふさわしい、音楽の喜びと感動が溢れるひとときとなり、日々の生活に彩りと活力を与えてくれる、記憶に残るコンサートとなりました。

(療育部 清水 信夫)



第3病棟 5月誕生会

キーボードコンサートを実施しました

5月9日（土）、第3病棟の誕生会にキーボード奏者・高橋裕美様をお迎えし、東棟・西棟の2会場でコンサートを開催しました。

ジブリ作品の主題歌や懐かしい童謡など、耳に馴染んだ名曲が次々と奏でられるたびに、利用者の皆様の手拍子や歌声が自然と広がり、会場は温かな雰囲気

包まれました。そして誕生者への「ハッピー・バースデー」が流れると、笑顔と拍手がいっそう大きくなり、心に残るお祝いのひとときとなりました。高橋様の優しい音色が紡いだ素敵な時間に、心より感謝申し上げます。（療育主任 下村 毅）



デイケアセンター

幼児部 卒園式を実施しました

3月27日（金）に2025年度デイケアセンター幼児部の卒園式が行われ、6名の子どもたちが新たな一歩を踏み出しました。式では一人ひとりが卒園証書を受け取りました。在園児・職員より「こころのねっこ」の歌のプレゼントがあり、これまでの思い出と感謝の気持ちを歌にのせ、温かな雰囲気と共に盛大に送り出しました。春からは小学生として新しい生活が始まります。

卒園児たちの今後の活躍が楽しみです。

（デイケアセンター 澤 歌凜）



デイケアセンター

入所式を実施しました

4月6日（月）に2026年度デイケアセンター入所式が行われました。青年部に1名、幼児部に3名の新入所者をお迎えしました。ご家族とともに参加する新入所者は、少し緊張した表情を見せながらも、新たな生活の一歩を踏み出しました。これからお友達や職員と関わりながら、たくさんの経験を重ね、島田デイケア

センターで楽しい日々を過ごしていきます。

（デイケアセンター 澤 歌凜）



放課後等デイサービス

外出活動を実施しました

放課後等デイサービスの利用者様は、春休み外出で初めて八王子市にある「あったかホール」に行きました。館内では、魚や昆虫・爬虫類の展示を見たり、アニメーションで瓶のリサイクルの工程を学んだりしました。その後、利用者様によってエコセンターで木工工作をしたり、喫茶店でアイスを選んで食べたりとそれぞれ思い思いの時間を過ごしました。いつもの放課後等デイサービスと違う雰囲気に利用者様の様々な表情や表出を見ることができ、楽しんだり刺激を受けている

様子うかがえました。

利用者様が展示を見やすいように職員の方が透明の瓶に生き物を移し替えたり、昆虫の標本の位置を変更してくれたりと色々配慮していただいたおかげで、とても充実した時間を過ごすことができました。あったかホールの職員の皆様、ご協力ありがとうございました。（デイケアセンター 稲葉 あゆみ）



東京都障害児(者)地域療育等支援事業 実施報告

本事業は東京都からの委託事業であり、地域で療育的な指導や相談を受けられることを目的に実施しています。利用していただけるのは、自宅等で暮らしている発達上のご心配や障害をお持ちの本人・ご家族と、ご本人の通所施設も対象となります。以下に2025年度の実績を報告いたします。

【外来療育等指導事業・訪問療育等指導事業】

発達上のご心配や障害のある本人・ご家族に対し、専門職がセンター内、または訪問（外部公共機関を含む）にてご相談に応じています。"外来療育等指導事業"では、個別のご相談以外に、保護者同士のつどいの場であり、子育て・療育の相談ができる心理主催の「しまだ子育てひろば」や、翌年年長になる児童を対象とした小集団指導の体験会等を開催し、身近に相談や療育を受けられる場を設けました。

"訪問療育等指導事業"は、移動が困難な方やご自宅での相談対応が必要な方に対し、専門職がご自宅等を訪問してご相談に応じていますが、リハビリ職による「家族向け発達支援講座」もこの事業を活用して8回開催しました。訪問による家庭での個別相談は2件でしたが、外出が困難であっても直接専門職の相談を受けられる機会があることで、少しでもご家庭の安心につながればと思います。

家族向け発達支援講座は、OT主催の“書くこと”や“姿勢”をテーマにした講義、ST主催の“字を覚えること”や“ことばの育ち”をテーマにした講義、心理主催の“ミニペアレントトレーニング”や“思春期の親子の関わり”、“ビジョントレーニング”に関する講義を行い、参加者からの質疑に回答しました。今年度も7回程度の講義を企画しております。

ご利用者の在住市は、多摩市に次いで八王子市が多く、日野市や町田市の方々にも多くご利用いただきました（表③）。

【施設支援一般指導事業（通称：施設支援）】

発達上のご心配や障害のある方に対応されている地域の通所施設の職員の方々からのご相談に応じています。専門職が施設へ出向く訪問相談と、施設の方に当センターへお越しいただく来所相談の方法があります。延べ87件のご相談に応じ、その内訳は訪問が86件、来所が1件となりました（表④）。対応した専門職種はSTが最多で、次いで心理、OT、PTでしたが、相談内容に即して派遣した結果でした（表⑤）。

ご相談内容は、発達全般からコミュニケーション、集団生活や学習、ことばや口腔機能の発達、運動機能や姿勢・体幹等に関する事等、多岐にわたりました。訪問

して現状を直接拝見し、職員の方々からも普段の様子をお聞きすることで、それぞれの対象児(者)や環境に合わせた工夫や支援方法を共に検討することができます。また、お伝えした内容を他の職員やご本人、保護者と共有いただき、さらには他のご利用者やクラス運営に活用していただくことで、職員のスキルアップや"その後につながる支援"となればと願っております。

外来・訪問療育等指導事業、施設支援いずれにおいても、就学前後（年長、小学校低学年）はやはり環境の変化が大きく、ご相談や支援ニーズが高くなる重要な時期と感じます。本事業において、周囲の理解や環境調整、個々に合った支援を地域や関係機関の方々と一緒にしながら、一人ひとりの力や思いを活かせる社会を築いていく一助になればと願っております。

本事業のご利用方法等については、ホームページ等をご確認ください。また、お電話でもご相談に応じますので、お気軽にお問い合わせください。

（支援部科長 三枝 勅夫）

表1 療育相談・訪問相談の対応職種延べ数（人）

	医師	Ns	PT	OT	ST	心理	SW	その他
療育相談	0	0	0	14	0	22	4	0
訪問相談	0	0	0	9	4	6	2	0

表2 療育相談・訪問の対象児(者)年齢（件）

0-2歳		6
3歳	年少児	17
4歳	年中児	32
5歳	年長児	41
6-8歳	小学校低学年	46
9-11歳	小学校高学年	20
12-14歳	中学生	13
15-17歳	高校生	2
18歳以上		1
合計		178

表3 療育相談・訪問の対象児(者)在住市（件）

多摩	八王子	町田	稲城	日野	その他	合計
77	37	29	23	9	3	178

表4 施設支援一般指導事業の実施数（延べ実施数）

保育園・幼稚園	53
学校・学童	26
知的障害者施設等	1
その他	7
合計	87

表5 施設支援一般指導事業の派遣職種延べ数（人）

医師	Ns	PT	OT	ST	心理	SW	その他
0	2	6	11	39	23	78	0

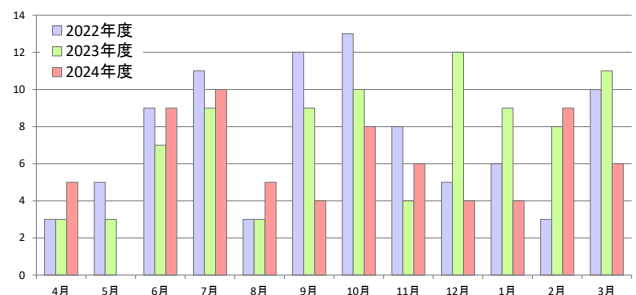


図1 施設支援一般指導事業の月毎の実施数の分布（施設）

2026年度

新職員オリエンテーションを実施しました

4月1日(水)、多摩に13名の新入職員をお迎えすることができました。緊張と期待の表情で理事長より採用の辞令を受けたあとは、24名(中途採用者含む)の職員がオリエンテーションを受講しました。講義では島田療育センターの歴史や組織などを学ぶ全体研修として2日間、医療や療育など専門的な講義を5日間で学びました。7日間にわたるオリエンテーションが終わると配属先にて今後は日常的な実践の場にてさまざまなことを学んでいきます。入社時だけ研修を受けるのではなく各自のスキルアップを目指し島田療育セン

ターでは内外ともに様々な研修やオンデマンド配信など受講方法を工夫しながら学ぶ機会を提供し続けたいと考えています。
(庶務科長 駒場 直子)



おしらせコーナー



2026年度 家族向け発達支援講座

発達が気になるお子さんを理解し、育ちを支えるためのシリーズ講座です。QRコードからホームページに移動し、講座の詳細確認やお申込みができます。

講座1 子どもに寄り添う、行動の見方と関わり方 ～やってみようペアレントトレーニング～

日時 2026年6月18日(木)
10:00~11:30
対象 3~6才のお子さんの保護者



講座2 子どもの見る力を伸ばす ~読み書きが苦手な子どもへのビジョントレーニング~

日時 2026年7月9日(木)
10:00~11:30
対象 年長~中学生のご家族



講座3 ことばを育てる関わり

日時 2026年7月7日(火)
10:00~11:30
対象 ことばが出る前~3語文程度の発達段階のお子さんの保護者



東京都障害児(者)地域療育等支援事業のご案内

①外来療育等支援事業(療育相談)

当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。

②施設支援一般指導事業

発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。

③訪問療育等支援事業(訪問相談)

地域施設や家庭へ赴いて、健康診査や介護指導などを行います。

窓口は支援部 TEL 042-374-2607(直通)*
費用は 無料です。お気軽にお問い合わせください。

*2026年4月1日より電話番号が変わっています。

3面にて、当事業の実施報告を掲載しています。

季節の彩り



今月のテーマは「梅雨」紫陽花の傘を差した動物たちが、皆様をお迎えするイメージで飾りました。梅雨の時期を楽しく過ごしましょう。

発行者 社会福祉法人 島田療育センター
日本心身障害児協会

〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>



島田療育センター



ブログほっけ



Facebook



Instagram